

環境・農水常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成28年7月20日(水)

2 調査の概要

(1) 旧RDエンジニアリング最終処分場(栗東市小野)

旧RDエンジニアリング最終処分場問題については、平成25年12月からは二次対策工事に着手し、現在、選別施設および水処理施設が稼働しているところである。

こうしたことから、二次対策工事の状況について調査を行った。



(2) 道の駅「アグリパーク竜王」(竜王町山之上)

竜王町内2つの道の駅は、「竜王かがみの里」は野菜ソムリエを活用した土産土法の推進拠点とし、「アグリパーク竜王」は農業の担い手の育成と農住の斡旋拠点として役割分担を行うことで連携をし、地産地消や農業振興、地方移住等の促進を行う取組を進めることとしたことが評価され、平成27年度重点「道の駅」として選定されたところである。

滋賀県においては、力強い農業の確立を目指すため、新規就農者の確保や育成に向けた取組を推し進めていることから、当該施設の概要や取組状況について調査を行った。



(3) 県営みずすまし事業 白鳥川中流1期地区(東近江市上平木)

水田から流れ出る農業排水に含まれる栄養分が流出することにより、琵琶湖の水質に影響を与えていることから、農業排水に含まれる物質を少なくすることで、琵琶湖や河川の水質保全と農村地域の環境保全を図るため、県営みずすまし事業が実施されている。

当地区では、ほ場整備事業と併せて、水質保全対策の取組として浄化池等の整備が行われたところであり、地域住民による浄化池の保全が行われており、浄化池では環境学習会が実施されていることなどから、当該施設の概要について調査を行った。

